

まちの日記帳



男も料理で腕自慢 ヘルシー料理に挑戦

5/21

男性限定の「男の料理教室」が総合文化センターで開催され、16人がヘルシー料理に挑戦しました。

この料理教室は、料理は女性がするものという考えを改め、自ら調理することで健康づくりに考えてもらうと町住民福祉課が企画。参加者は、管理栄養士の隅本礼子さんの指導のもと、「豚肉の野菜巻き」や「切り込みパスタ」など5品に挑戦し、慣れない包丁に悪戦苦闘しながらも、作った料理の味に満足な様子でした。



漁港をきれいに 美国漁港利用協議会が美化活動

5/25

美国漁港利用協議会（八戸良一会長）は、かつての美国漁港の「ゴミ捨て場を花壇として再利用し、同港内の美化活動に取り組んでいます。

今年も、東しゃこたん漁協美国地区女性部（佐藤恵子部長）の協力を得て、同港内4カ所の花壇にサルビアやサフィニアなど300株の苗を植えました。同女性部によって、一株一株丁寧に植えられた色鮮やかな花々は、地域の人をはじめ漁港を訪れる多くの人の心を和ませています。



ストレッチ・歩行運動で汗 高齢者のための運動教室

5/26 5/22

高齢者の介護予防を目的とした巡回型運動教室「いきいきクラブ」が22日に来岸会館、26日に日司生活改善センターと野塚地区ふれあい交流館でそれぞれ開催されました。

教室では、町地域包括支援センター職員による脳卒中や認知症についての講話のほか、ストレッチ体操や縄はしごを使った歩行運動が行われました。参加者からは、「無理なくでき、膝が楽になった。」などの声も聞かれ、終始楽しそうに取り組まれる姿が見られました。



▲ 5/26 野塚地区ふれあい交流館での様子

余別自治会が清掃活動 町道を彩る花壇に花

5/26

余別自治会（井端順司会長）で、町道の清掃と沿道の花壇の手入れが行われ、28人が参加しました。

各家庭からそれぞれスコップや草刈機などを持ち寄り、女性陣は花壇、男性陣は清掃作業を担当。大小7区画の花壇に金魚草やマリーゴールドなどが植えられたほか、草刈りやアスファルトから生い茂る雑草を除去する作業を行いました。

作業は重労働でしたが、きれいになっていく町内に参加者の笑顔の輪が広がりました。



海を育む森づくり
今年はトドマツ60本
5/29

美国町小泊の地滑り跡地で、今年も東しゃこたん漁協美国地区女性部（佐藤恵子部長）による植樹活動が行われました。

この同部の活動は、25年以上前から毎年実施されており、今年も同漁協青年部や漁協関係者なども加わり、総勢14人の参加となりました。

雑草と石の多い傾斜地に悲鳴を上げながらも、「トドマツの苗木がしっかりと根を張り積丹の厳しい環境にも耐え育つように」と、一生懸命に作業する参加者の姿が見られました。



小樽の歴史を学ぶ
第2回リフレッシュン学級「視察研修」
6/11

第2回目のリフレッシュン学級「視察研修」が開催され、同会員など34人が参加し、小樽市内の「小樽歴史館」と「北海道フイン工場」を見学しました。

小樽の街を作った商人の記録が展示されている歴史館では、観光ボランティアガイドの案内や紙芝居により、小樽の歴史と文化に触れ、また、フイン工場では、フインの製造過程を見学後に試飲も行われました。

参加者は普段の生活から少し離れ、大勢での研修を楽しみました。



きれいな町でお出迎え
商工会国道清掃
6/11

6月10日の「商工会の日」に合わせ実施している国道229号線の沿道の清掃活動が、今年も積丹町商工会（山本俊三会長）会員など20人によって実施されました。

「きれいな町で観光客をお迎えしよう」を合言葉に、美国橋から総合文化センターまでの約1kmの間を参加者は、ほうきやチリ取り、草刈鎌を片手に、植込みや歩道に敷かれたブロックの隙間に生える雑草の除草など、約2時間の清掃に汗を流しました。



全園児で楽しい遠足
小さな足で頑張りました
6/14

びくに保育所とみなと保育所園児33人の春の合同遠足が行われました。

さわやかな陽気の中、3歳以上の園児は黄金岬、3歳未満の園児は美国漁港を目指してスタート。お友達と仲良く、互いに励まし合いながら一生懸命歩きました。

長い距離を歩いた後は、待ちに待ったお弁当の時間。園庭にシートを敷いてみんなで食べるお弁当は格別で、子どもたちは大満足の様子でした。

